

平成21年度 海外研修旅行レポート PART I

京都市立日吉ヶ丘高等学校 国際コミュニケーション科

平成22(2010)年3月2日(火)

この日私たちは入学以来準備を重ねてきた海外研修に出発です。午後3時ごろの京都駅には大勢の保護者や先生方が見送りに来てくださり、私たちは期待の大きさと責任を感じました。

貸切バスで到着した関西国際空港での手続きは緊張の連続。パスポートや搭乗券など、慣れない用語に緊張しながら手荷物検査と出国審査を通過、13番ゲートに向かいました。

この場所からは私たちが搭乗する飛行機が見えていました。いよいよ海外に行くんだという実感がわいてきました。

3月3日(水)

8時間余りのフライト後、着陸したのはゴールドコースト空港。まとわりつくような蒸し暑さがありました。



2～3時間しか眠れなかった上に着陸前の機内で感じる、あの気持ち悪さも味わった私たち。貸切バスの車内では睡魔との闘いでした。

はじめに訪れたのはマウント・クーサ。眺望で知られたこの場所もこの時はあいにくの雨。ところがここで思わぬ再会がありました。去る7月まで日吉ヶ丘高校で英語を教えて下さっていたルイーザ先生が私たちを待っていたのです。

懐かしい再会の後、私たちはヌーサ・シビックというショ

ッピングセンターで昼食。続いて今度こそは、とこれまた眺望で知られたティンビーワ山へ。台風のような風に吹き飛ばされそうになりながらもこの時には眺望を楽しむことができました。

その後、サンシャインビーチを眺めながらのバスツアーとヘイスティング・ストリートでのアイスクリームを楽しんでGlobal Village Noosa (以下GV Noosa)へ。





GV Noosa は私たちの研修旅行を企画して下さる語学学校です。ここで私たちはオリエンテーションを受け、ホストファミリーを待ちました。ドキドキしているとホストファミリーの人たちが次々とやってこられて、私たちの第2の家族との生活が始まりました。

3月4日(木)

この日は初の登校日。8時半ごろになるとファミリーの自動車に送られて、私たちは「ココベイ・リゾート」につきました。ここは20棟程の建物が並んでいる長期滞在型リゾートで、この場所が海外研修中の「学校」になります。

まずはホームルーム。英語講師のアネット先生から英語レッスンのことなどを教えていただきました。

続いて私たちは9~10人ずつのグループ別に各「教室」での英語レッスンへ。教室といっても、かなり広めのリビングルームというような場所で、台所もあります。



午前中の英語レッスンが終わると、午後は「アンダー・ウォーター・ワールド」へ。Seal Show (アシカのショー) などを楽しみました。



3月5日(金)



ヌーサはこの日も怪しい空模様。今日の午後はボートとカヤックのはずでしたが予定を変更し、午前も午後も英語レッスンとなりました。午後の部はクッキングをしながらの英語学習で、焼きたてのクッキーが香る、おいしい英語レッスンとなりました。

3月6日(土)



の食事会です。あちこちのテーブルを訪れては英語なぞなぞを出して楽しんだ人たちもいました。「日吉ヶ丘の生徒たちはとても反応がよい」と多くのファミリーの人たちが好感を持っているようでした。

この日は英語レッスンはなく、午前中はユマンデイ・マーケットという地元の市場へ、午後は GV Noosa でのウエルカムバーベキューです。

ユマンデイ・マーケットには、静かな生演奏が響き、採れたての野菜や地域の民芸品などが並んでいました。たくさん歩いてバスに戻ったところ、引率の小林先生と友達の一人がフェイスペイントをして戻ってきてフラッシュの嵐でした。この場所からバスで 30 分ほど移動し、私たちはウエルカムバーベキューの会場に到着。ホストファミリーが勢揃い

